

## 設置の趣旨

大阪市では昭和36年、全国に先駆けて大阪市立難波養護学校内に「大阪市精神薄弱児職業教育センター」を設置し、中学校養護学級の生徒たちに勤労の喜びを体験させ、作業意欲の向上と働く態度を育成する場を設置した。

昭和45年から46年にかけて養護学校高等部が設置され、高等部への進学希望者が年々増加することによる、養護学校高等部の職業教育の充実が求められた。

それまで中学校養護学級の生徒たちを対象にしていた「大阪市精神薄弱児職業教育センター」を平成4年に改組し、養護教育諸学校高等部及び、中学校養護学級の職業教育充実のために「大阪市職業教育訓練センター」を設立するに至った。

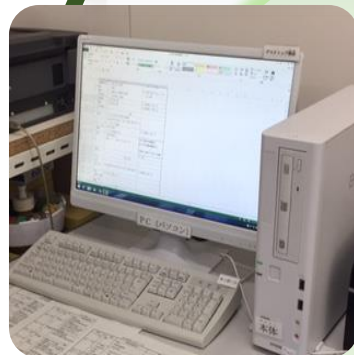
平成27年4月「大阪市立特別支援学校整備計画」に基づき、難波特別支援学校が移転拡充するとともに「大阪市キャリア教育支援センター」と名称変更した。

平成28年4月より、大阪市立特別支援学校12校は大阪府に移管されたため、当センターは、本市独自事業として本市に在住する障がいのある生徒のキャリア教育・職業教育の場を提供するとともに、ジョブアドバイザーの拠点とし、就労に向けた様々な情報発信を積極的に進める。

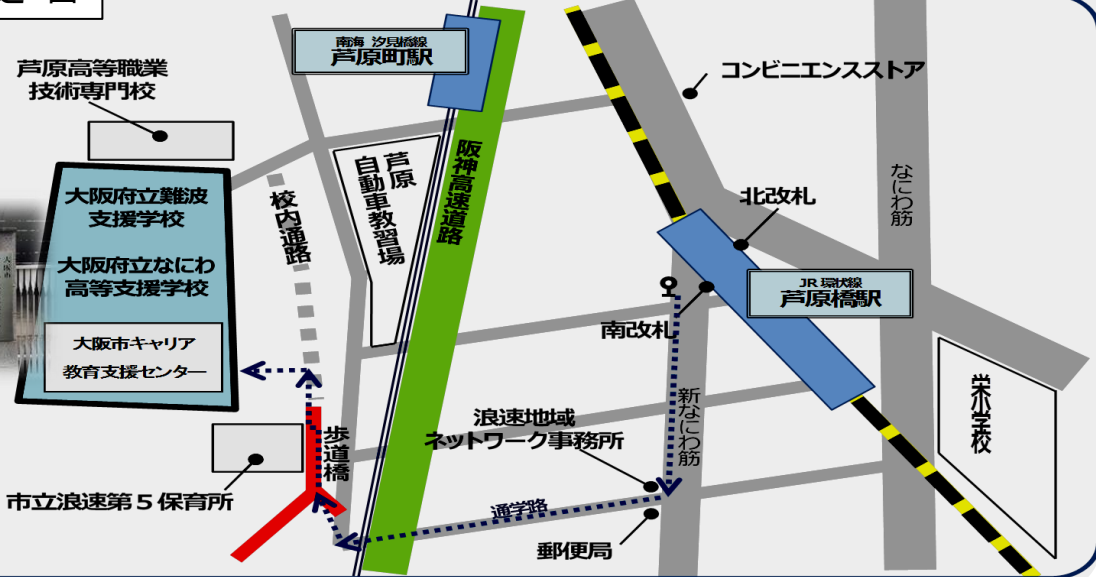
# 大阪市 キャリア教育支援センター 要覧



『できた！』  
『できる！』  
体験を大切に  
しています



## 付近図



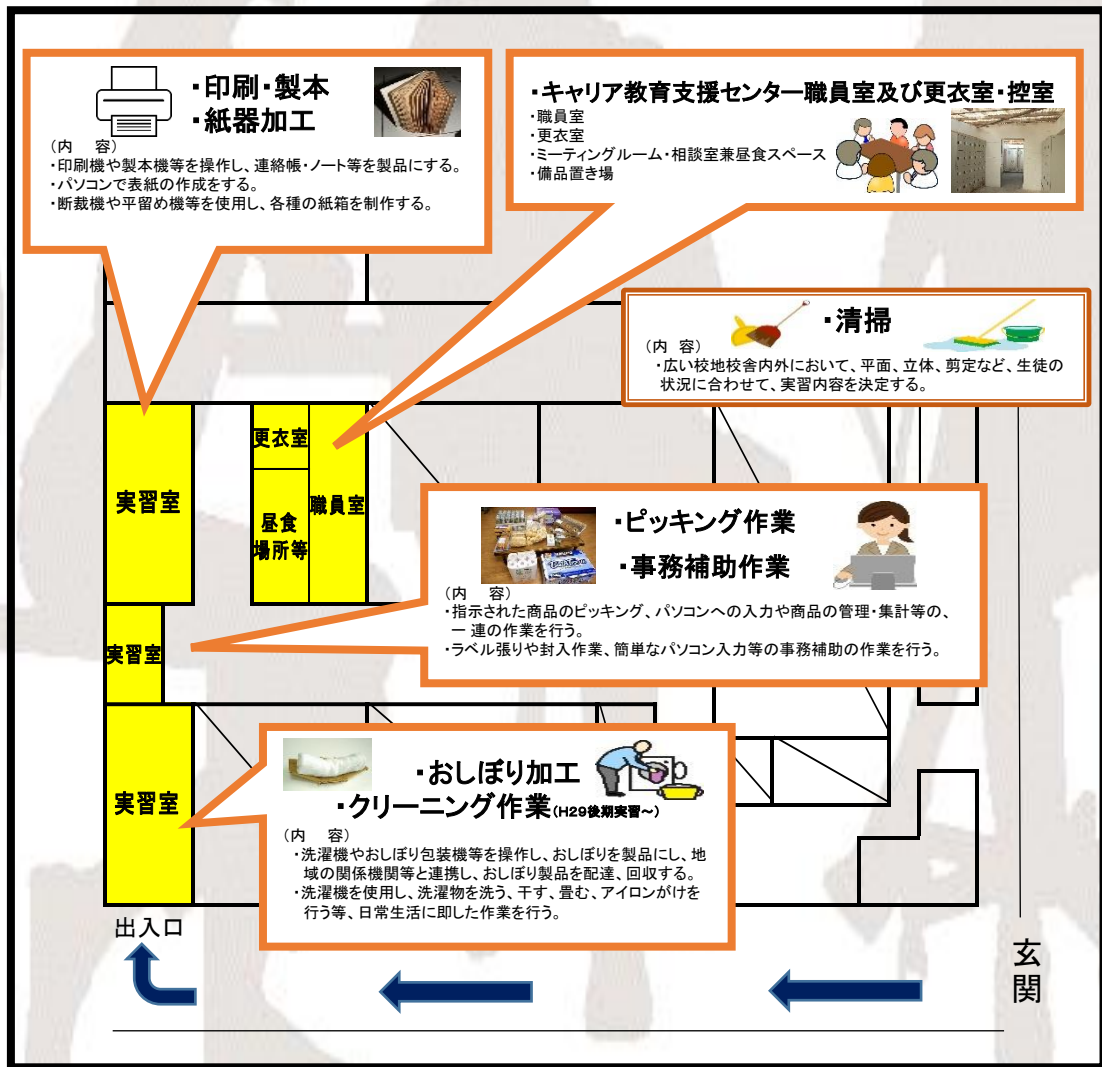
〒556-0027 大阪市浪速区木津川2-3-30

(大阪府立難波支援学校に併設)

電話 (06) - 6561 - 5377

・ JR環状線	芦原橋駅	西600m
・ 市バス	芦原橋駅	西600m
・ 南海汐見橋線	芦原町駅	西200m

# 大阪市キャリア教育支援センター 配置図



## 事業の概要

### 対象生徒

- ・大阪市立中学校特別支援学級等在籍生徒
- ・大阪市立高等学校自立支援コース在籍生徒
- ・旧大阪市立特別支援学校中学部、高等部在籍生徒

### 職員体制

- ・統括 1名
- ・主任指導員 1名
- ・指導員 6名
- ・ジョブアドバイザー 3名

### 実習種目

- ・おしぼり加工
- ・紙器加工
- ・印刷・製本
- ・クリーニング作業 (H29後期～)
- ・ピッキング作業
- ・事務補助作業
- ・清掃

## 実習時間 (時程)

	月	火	水	木	金
9:00 ~ 9:30	9:00~9:30 までに入所 入所後、更衣などの実習準備				
9:40	朝礼 (初日は開始式及びジョブアドバイザーからの話)				
10:00 ~ 12:00	実習	実習	実習	実習	実習
12:00 ~	休憩及び屋敷		更衣後終礼 (終了式)	休憩及び屋敷	
12:45 ~ 14:45	実習	実習	※屋敷をとる場合 13:00までに退所	実習	実習
14:45 ~	更衣			更衣	
~ 15:00	終礼 (最終日は修了式)			終礼 (最終日は修了式)	

## その他

- ・実習参加生徒の状況に応じて、1~3日間の実習期間を選択可能
- ・年間2回 (前期1回、後期1回) 利用可能。
- ・実習参加生徒の保護者の見学を積極的に進め、将来の就労に向けた各家庭での取組等についてアドバイスを実施
- ・付き添い教員に対して、障がい者雇用の現状等、センター職員及びジョブアドバイザーから情報発信する
- ・実習後も継続的に、障がいのある生徒の就労に関する相談が可能
- ・年間数回公開日 (水曜日午後) を定め、作業種目を公開し、障がいのある生徒が自ら作業種目を選択できる体制をめざす

## ジョブアドバイザーによる障がいのある生徒の 就労に関する支援

障がいのある生徒及び保護者・教員をジョブアドバイザーが直接サポート

